

発言者	内容
司会（会長）	理科の教科用図書について審議する。 東京書籍についていかがか。
委員	理科を学ぶことの意義や有用性の実感、理科への関心を高める内容が充実している。 兵庫県の記述も多くてよいのではないか。
委員	実験手順が明確に示されている。授業者が扱いやすい。
委員	単元のはじめに日常生活と疑問を関連づけ意欲を高める工夫がある。
司会（会長）	文字の大きさが工夫されており、見やすい。視界に入りやすい。 「じっくり探究」等、探究学習を重視しているのが良くわかる。
司会（会長）	大日本図書についていかがか。
委員	サイズがやや小さく、実験の説明がややわかりづらい。 探究学習ができるような工夫がみられるが、やや流れがわかりづらい。
委員	観察や実験の操作のポイントを「コツ」として表現している。
委員	サイズがやはり気になる。実験がややわかりづらい。 小学校からの関連があるのが、よいのではないか。
司会（会長）	火山について図が分かりやすい。 調査員の報告にある通り、主体的な学びについてやや物足りない。
司会（会長）	学校図書についていかがか。
委員	全ての学習が探究学習としてまとめられている。 探究学習の方法も、わかりやすい。
委員	探究に写真を使って分かりやすく説明しているが、方法と結果が同じページにあるため、先に結果が分かってしまうのはいかがか。
委員	デジタルコンテンツは必要なのか。全ページがタブレットで見ることができるのは特徴的である。また、写真が大きくて見やすい。
司会（会長）	大きな文字と小さな文字が混在しているような印象がある。

司会（会長）	教育出版についていかがか。
委員	ユニバーサルデザインに配慮しているが、3年にとっては、文字が大きいのではないか。主体的、対話的な学びには工夫がみられる。よく考えられている。
委員	イラストがみやすい。写真だけでは伝わらないところをイラストで伝える工夫がある。
委員	文字が大きいと、情報量がやや少なく深い学びに繋げることができていないのではないか。
司会（会長）	大きい字と小さい字の混在が見られる。 巻末の元素記号が生徒にも興味を持てるように工夫されている。
司会（会長）	啓林館についていかがか。
委員	調査員の報告にも、生徒にとって探究的に学べる工夫があるといったところが評価できる。 3年では発展的な内容が充実しており、科学的な根拠に基づき各領域を関連づけている。
委員	防災の記述についても兵庫県が取り上げられており、評価できる。 総合的な学習と絡めやすい内容になっている。 また、最近の新型コロナウイルスに関する記載があるなど、新しい内容を取り入れている。SDGsなどの今日的な課題も取り上げられている。
委員	同じく、防災に関する記述は良いと思う。
司会（会長）	実験の説明が詳しく興味をひきやすい。 実験の動画や解説動画も充実している。 「学ぶ前にトライ」「学んだ後にリトライ」が自身の変容を実感できるように工夫がされている。
司会（会長）	総括をする。 以上のことから、啓林館を1番に、東京書籍を2番に推薦する。